



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

2020年第30週(7/20~26)【概要版】

2020年7月31日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- (1) 滋賀県内外で、継続的に新型コロナウイルス感染症が報告されています。これから帰省などで移動される方が増加しますが、移動先の流行状況に留意いただき、手洗い、咳エチケットを常に心がけてください。また、3密と呼ばれる、「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」を避けることを意識しながら、過ごしてください。
- (2) 例年同様に、降水量の増加とともに7月にレジオネラ症の増加を認めております。また、今年は例年よりも多く報告されています。特に高齢の方は、土埃や環境中の水しぶきを吸い込まないようにご注意ください。
- (3) 腸管出血性大腸菌感染症が2例報告されました。
- (4) 全ての小児科定点把握疾患は、例年と比べて低いレベルで推移しています。

2. 報告数が多かった定点把握疾患(五類感染症) (i)

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津 市	草津	甲賀	東 近 江	彦 根	長 浜	高 島
感染性胃腸炎	1.69	2.08	1.31				多			多	多		
ヘルパンギーナ	0.53	0.25	0.31					多					多
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.47	0.72	0.22						多	多	多	多	

(2) 前週の全国および近隣府県の状況(下線; 滋賀県よりも多い)

疾患	全国	滋賀 県	大 阪 府	京 都 府	福 井 県	岐 阜 県	三 重 県
感染性胃腸炎	<u>2.25</u>	2.08	<u>2.13</u>	1.42	<u>2.13</u>	1.43	<u>2.30</u>
ヘルパンギーナ	<u>0.35</u>	0.25	0.16	0.05	<u>0.09</u>	0	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<u>0.94</u>	0.72	0.62	<u>0.78</u>	<u>0.91</u>	0.26	0.27



3. 全数把握疾患(滋賀県、今週診断例)

類型	疾病名	滋賀県					保健所別						
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津 市	草津	甲賀	東 近 江	彦 根	長 浜	高 島
二類	結核		1	2	1					1			
三類	腸管出血性大腸菌感染症		1	0	2	○				2			
四類	レジオネラ症		1	3	3	○	1	1	1				
五類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		0	0	1				1				

- i. 定点把握疾患: 人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握
- ii. 警; 警報発令、注; 注意報発令
- iii. 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」よりも多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差」よりも多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)、百日咳は2018年より全数把握とされているため、本標記対象から除外
- iv. 「警; 警報開始基準値を超過」、「注; 注意報基準値に到達」、「多: 今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑: 前週比増加」(「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記)

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

2020年第30週(7/20~26)【詳細版】

2020年7月31日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- (1) 滋賀県内外で、継続的に新型コロナウイルス感染症が報告されています。これから帰省などで移動される方が増加しますが、移動先の流行状況に留意いただき、手洗い、咳エチケットを常に心がけてください。また、3密と呼ばれる、「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」を避けることを意識しながら、過ごしてください。
- (2) 例年同様に、降水量の増加とともに7月にレジオネラ症の増加を認めております。また、今年は例年よりも多く報告されています。特に高齢の方は、土埃や環境中の水しぶきを吸い込まないようにご注意ください。
- (3) 腸管出血性大腸菌感染症が2例報告されました。
- (4) 全ての小児科定点把握疾患は、例年と比べて低いレベルで推移しています。

2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週の値) i, ii, iii, iv

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県					保健所別 (iv)							全国 (前週) (iv)	基準値		
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜		高島	警報 開始	警報 終息
インフルエンザ (定点数:60)	インフルエンザ	0.03	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.00	30	10	10
	RSウイルス感染症	0.06	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—
	咽頭結膜熱	0.14	0.06	0.03			0	0.13	0	0	0	0	0	0.18	3	1	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.47	0.72	0.22			0.13	0	0.25	0.50	0.25	0.50	0	0.94	8	4	—
	感染性胃腸炎	1.69	2.08	1.31			1.50	0.38	0.50	3.17	2.00	0.75	0	2.25	20	12	—
	水痘	0.14	0.06	0.14			0.13	0.13	0	0.50	0	0	0	0.10	2	1	1
	手足口病	0.03	0.08	0.08			0.13	0	0	0	0	0	1.00	0.12	5	2	—
	伝染性紅斑	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.02	2	1	—
小児科 (定点数:36)	突発性発しん	0.44	0.33	0.17			0.25	0.13	0	0.33	0	0.25	0	0.54	—	—	—
	ヘルパンギーナ	0.53	0.25	0.31			0.13	0.38	0	0	0	0	3.50	0.35	6	2	—
	流行性耳下腺炎	0	0.25	0			0	0	0	0	0	0	0.06	6	2	3	
	急性出血性結膜炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.01	1	0.1	—	
	流行性角結膜炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.19	8	4	—	
	眼科 (定点数:8)	細菌性髄膜炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.01	—	—	—
基幹 (定点数:7)	無菌性髄膜炎	0	0	0.14		○	0	0	1.00	0	0	0	0	0.02	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.05	—	—	—	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—	
	インフルエンザ (入院例に限る)	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—	

i 定点把握疾患:人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ii 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。

iii 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)

iv **赤字斜字**:警報開始基準値を超過、**紫字斜字**:注意報基準値に到達



#### 4. 定点把握疾患(五類感染症)の年齢階級別報告数 (滋賀県、今週)

インフルエンザ定点 (60医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～	
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大津市保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草津保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲賀保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東近江保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
彦根保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

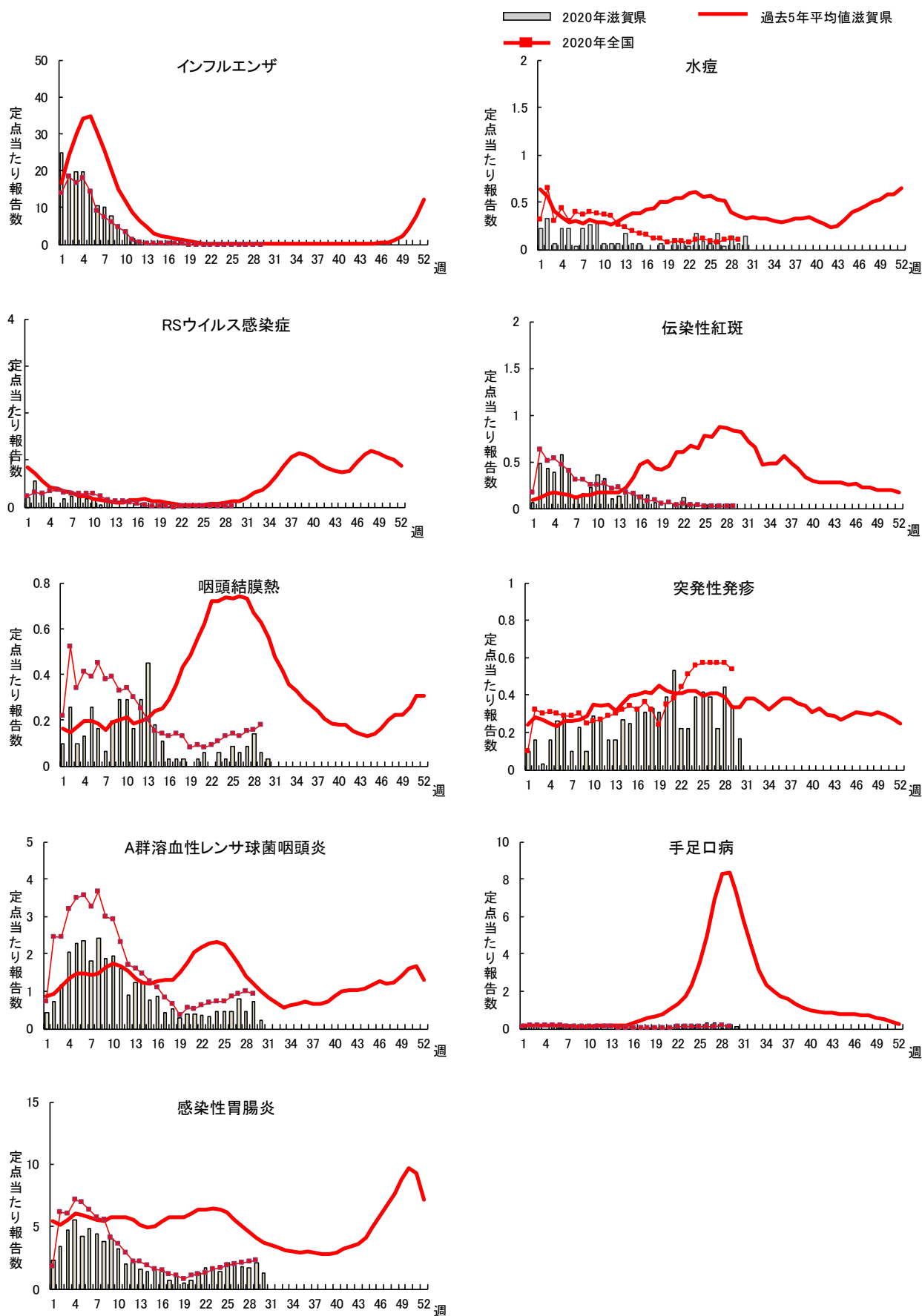
小児科定点 (36医療機関)	総数	0～5ヶ月	5～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8	-	-	-	2	-	1	1	-	1	2	-	-	-	1
感染性胃腸炎	47	4	4	3	5	1	4	7	2	5	1	1	5	2	3
水痘	5	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1	-	1	-	-
手足口病	3	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	6	-	2	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	11	-	1	2	3	1	2	-	-	2	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

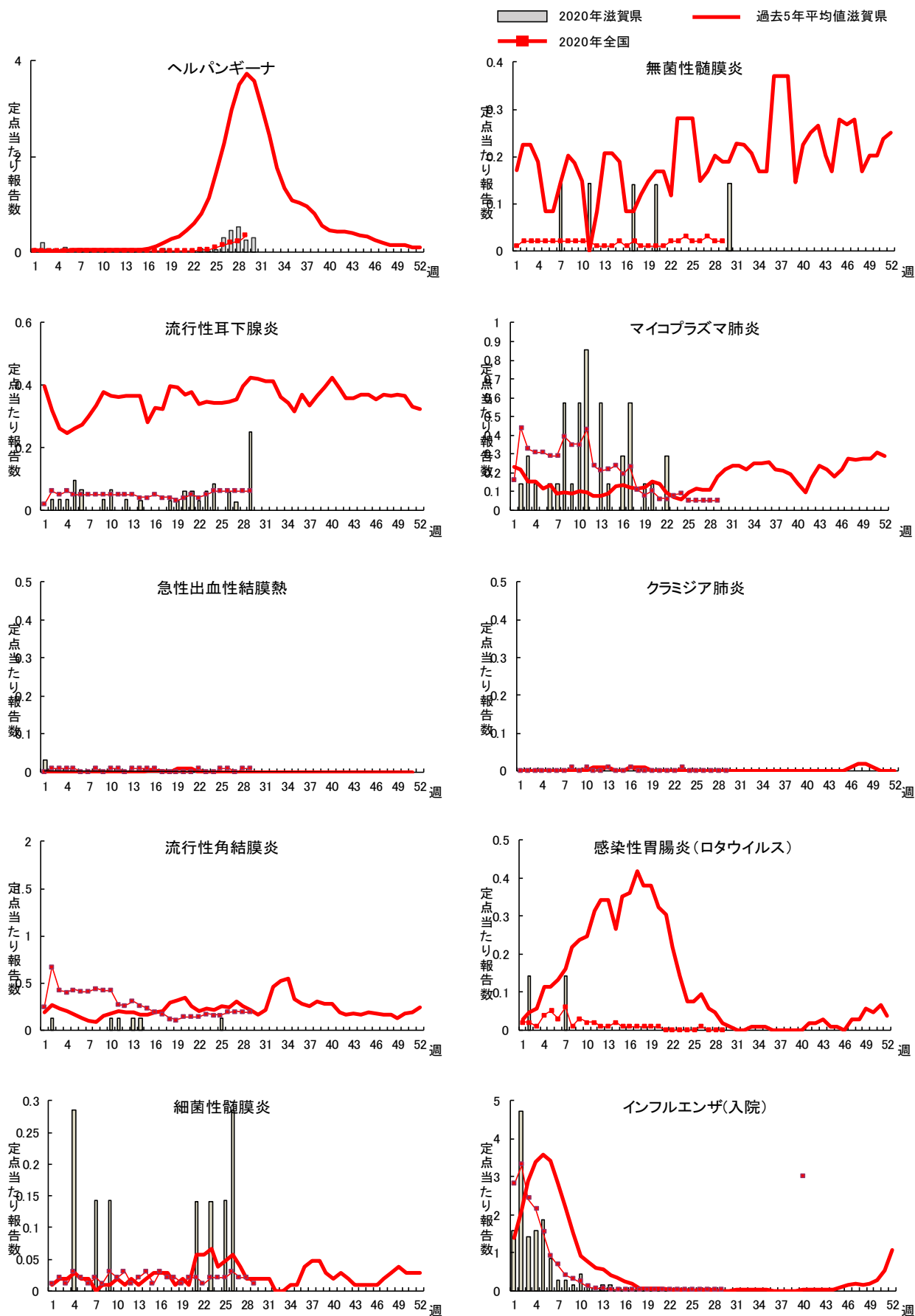
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」; 報告なし

5-1. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



### 5-2. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



6. 全数把握疾患 詳細情報(今週報告例) <sup>▽</sup>

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	30	甲賀	50歳代	女	無症状病原体保有者	県内	-
三類	腸管出血性大腸菌感染症	30	草津	20歳代	女	-	-	O157 VT2
	腸管出血性大腸菌感染症	30	草津	20歳代	男	-	県内	O157 VT型不明
四類	レジオネラ症	30	大津市	80歳代	男	肺炎型	大津市保健所管内	-
	レジオネラ症	30	草津	60歳代	男	肺炎型	県内	-
	レジオネラ症	30	甲賀	60歳代	男	肺炎型	甲賀保健所管内	-
五類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	30	草津	50歳代	男	-	草津保健所管内	A群
	梅毒	29	彦根	20歳代	男	早期顕症 I 期	長浜保健所管内	異性間性的接触

## 注目すべき感染症

## 1. 新型コロナウイルス感染症

## (1) 感染予防のために(国立感染症研究所)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2\\_1](https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1)

## (2) 新型コロナウイルス感染症に関する滋賀県の状況について(滋賀県)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryohukushi/yakuuzi/309252.html>

## 2. レジオネラ症

## (1) 厚生労働省

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_00393.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00393.html)

## (2) 国立感染症研究所

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ra/legionella/392-encyclopedia/530-legionella.html>

<sup>▽</sup> 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別(2020 年、全国は前週までの値) vi,vii

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国	昨年累積報告数	
	例年より多い	例年より非常に多い	累積報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	(前週)	滋賀県	全国
二類 結核			100	43	15	5	14	7	11	5	9450	244	20625
			7.07	12.57	4.36	3.47	6.15	4.49	7.19	10.61	7.44	17.268	16.2487
腸管出血性大腸菌感染症	○		26	0	4	3	14	5	0	0	1035	70	3705
			1.84	0	1.16	2.08	6.15	3.21	0	0	0.82	4.954	2.91886
三類 パラチフス	○	○	1	1	0	0	0	0	0	0	7	1	21
			0.07	0.29	0	0	0	0	0	0	0.006	0.0708	0.01654
E型肝炎			0	0	0	0	0	0	0	0	266	1	479
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.21	0.0708	0.37736
A型肝炎			0	0	0	0	0	0	0	0	84	2	420
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.07	0.1415	0.33088
四類 デング熱			0	0	0	0	0	0	0	0	41	1	456
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.032	0.0708	0.35924
日本紅斑熱			1	0	0	0	1	0	0	0	131	2	316
			0.07	0	0	0	0.44	0	0	0	0.103	0.1415	0.24895
レジオネラ症	○		19	4	8	2	4	0	0	1	887	25	2292
			1.34	1.17	2.32	1.39	1.76	0	0	2.12	0.699	1.7693	1.80568
アメーバ赤痢			3	2	1	0	0	0	0	0	339	10	826
			0.21	0.58	0.29	0	0	0	0	0	0.267	0.7077	0.65074
ウイルス性肝炎			1	1	0	0	0	0	0	0	139	2	322
			0.07	0.29	0	0	0	0	0	0	0.110	0.1415	0.25368
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	○	○	9	1	8	0	0	0	0	0	883	9	2244
			0.64	0.29	2.32	0	0	0	0	0	0.696	0.6369	1.76786
急性弛緩性麻痺	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	17	1	77
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.013	0.0708	0.06066
急性脳炎	○	○	7	4	0	2	0	1	0	0	332	3	890
			0.50	1.17	0	1.39	0	0.64	0	0	0.262	0.2123	0.70116
クロイツフェルト・ヤコブ病			0	0	0	0	0	0	0	0	79	4	185
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.062	0.2831	0.14575
劇症型溶血性レンサ球菌感染症			7	2	3	1	0	0	1	0	449	8	907
			0.50	0.58	0.87	0.69	0	0	0.65	0	0.354	0.5662	0.71455
後天性免疫不全症候群			5	1	1	1	0	1	1	0	551	12	1187
			0.35	0.29	0.29	0.69	0	0.64	0.65	0	0.434	0.8493	0.93514
侵襲性インフルエンザ菌感染症			3	0	1	0	1	1	0	0	178	10	523
			0.21	0	0.29	0	0.44	0.64	0	0	0.140	0.7077	0.41203
五類 侵襲性髄膜炎菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	48
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.009	0	0.03782
侵襲性肺炎球菌感染症			8	2	4	2	0	0	0	0	1044	29	3195
			0.57	0.58	1.16	1.39	0	0	0	0	0.822	2.0524	2.51708
水痘(入院例)			1	1	0	0	0	0	0	0	205	2	472
			0.07	0.29	0	0	0	0	0	0	0.162	0.1415	0.37185
梅毒	○		21	7	4	3	3	1	3	0	3110	32	6435
			1.49	2.05	1.16	2.08	1.32	0.64	1.96	0	2.450	2.2647	5.0696
播種性クリプトコックス症	○		1	0	1	0	0	0	0	0	76	1	151
			0.07	0	0.29	0	0	0	0	0	0.060	0.0708	0.11896
破傷風			0	0	0	0	0	0	0	0	56	1	122
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.044	0.0708	0.09611
バンコマイシン耐性腸球菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	74	1	78
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.058	0.0708	0.06145
百日咳	-	-	20	15	1	1	3	0	0	0	2587	133	16545
			1.41	4.38	0.29	0.69	1.32	0	0	0	2.038	9.4126	13.0344
風しん			1	1	0	0	0	0	0	0	84	7	2294
			0.07	0.29	0	0	0	0	0	0	0.066	0.4954	1.80725
麻しん			1	0	0	1	0	0	0	0	12	9	743
			0.07	0	0	0.69	0	0	0	0	0.009	0.6369	0.58535

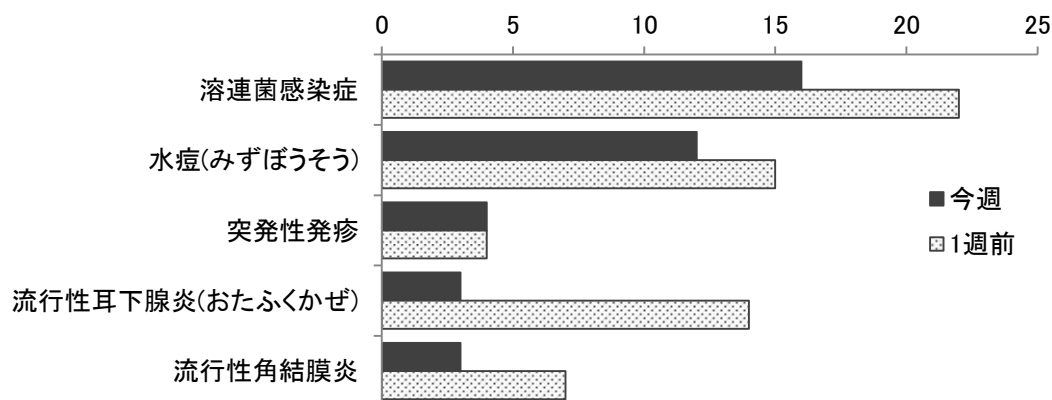
vi 今年第 1 週以降に診断された感染症の累計報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に今年の「累積報告数」、下段に「人口 10 万人当たりの累積報告数」を記しています。

vii 今年と過去 5 年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記



**【参考】今週の学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)概況(滋賀県、今週)**

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム ([https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view\\_all.php](https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php))へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。



**【全国情報】 国立感染症研究所 感染症疫学センターHP に掲載されています。**

感染症発生動向調査 週報 (IDWR)

<https://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報 (IASR)

<https://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>

インフルエンザ様疾患発生報告 (学校欠席者数)

<https://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

**【届出対象疾患】 厚生労働省 HP に掲載されています。**

感染症法に基づく医師の届出のお願い

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html)

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP

<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/>

イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」

